

《日商簿記2級》 —工業簿記—

26. 標準原価計算④

～製造間接費差異の分析（固定予算）について～



ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



製造間接費差異の分析(固定予算)

～製造間接費差異の分析(固定予算)について～
<固定予算の場合の差異分析を確認しよう!>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiirroha.com>



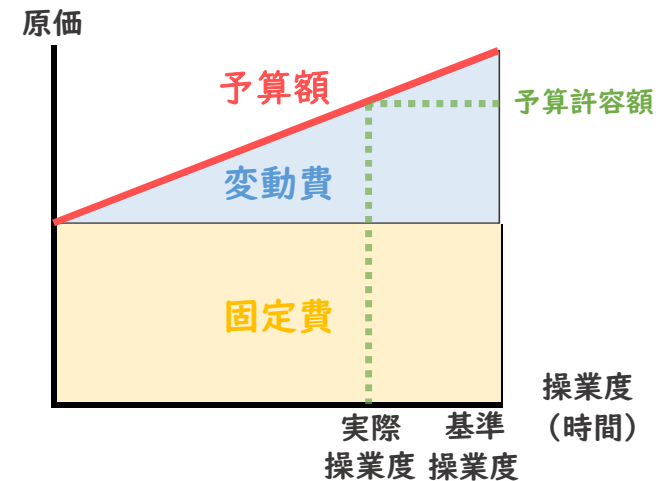
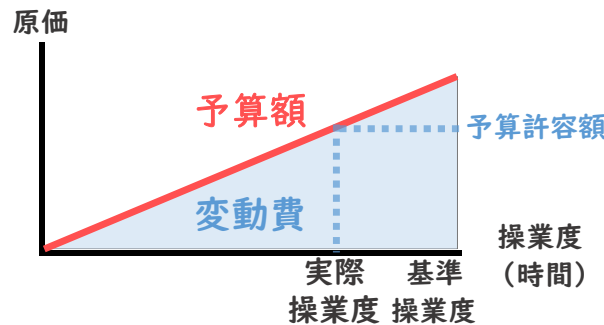
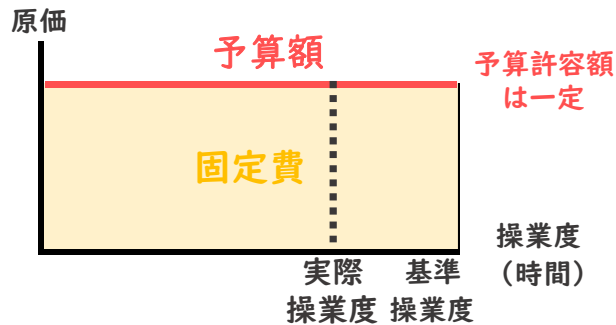
製造間接費差異の分析(固定予算)

○用語○
 基準操業度…一定期間における操業度の予測値

・1年間の製造間接費予算額は、前もって年度のはじめに見積もった()の間で発生する金額を
 予定したものであり、その設定方法には2つがある。

《製造間接費予算の設定方法(決め方)について》

- ()…基準操業度における予算額を製造間接費予算額とする方法。
 そのため、実際操業度が違ったとしても予算額は変化させない。【基準操業度の予算額=実際操業度の予算額】
- ()…実際操業度に応じた予算額である()を製造間接費予算額とする方法。
 基準操業度と実際操業度が違ったら、実際操業度に応じた予算額に修正を行っていく。
 この中には、変動費と固定費に分けて予算額を決める()という方法がある。
 これは、【 $y=ax+b$ 】という一定の公式を用いて計算することから、このように呼ばれている。
 (yは製造間接費予算、aは変動費率、xは操業度、bは固定費予算額を表す)
 つまり、固定費部分は、操業度の増減に関係なく一定の予算額とし、変動費部分は、操業度に応じて予算額が変動する形となる。



製造間接費差異の分析(固定予算)

○固定予算のポイント○
 基準操業度の予算額=実際操業度の予算額(予算許容額)
 ※実際操業度が違ったとしても予算額は変化させない

<実際原価計算による固定予算の復習問題>

下記の資料より、製造間接費配賦差異を計算し、
 予算差異と操業度差異に分析しなさい。
 (有利差異・不利差異まで記入すること)
 なお、製造間接費予算額の設定は固定予算で行っている。

[資料]

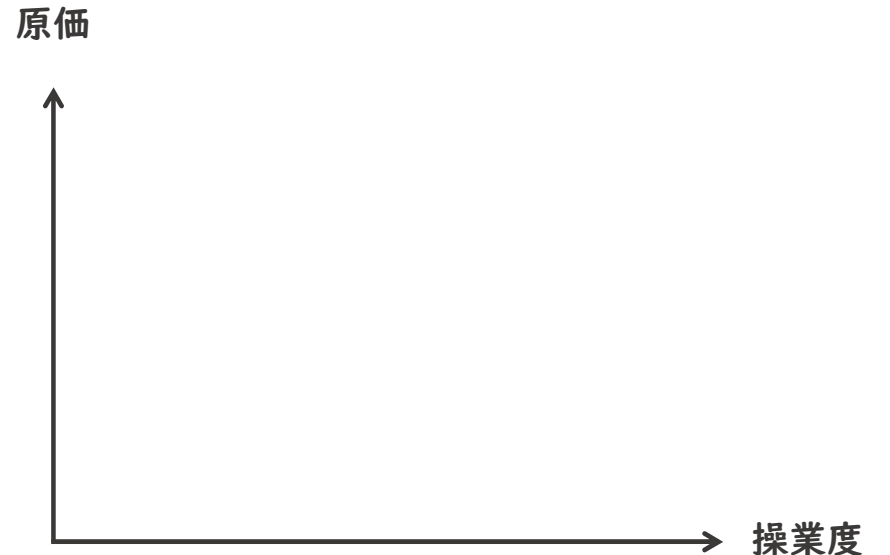
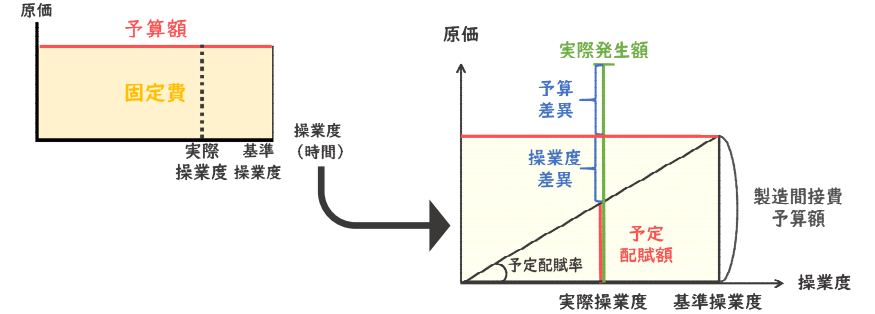
- I. 当月の実際直接作業時間(実際操業度): 180h
- II. 当月の製造間接費実際発生額: 9,800円
- III. 月間の予定直接作業時間(基準操業度): 200h
- IV. 月間の製造間接費予算額: 10,000円

【解答】

1. 製造間接費配賦差異: 円 (差異)

2. 予算差異: 円 (差異)

3. 操業度差異: 円 (差異)

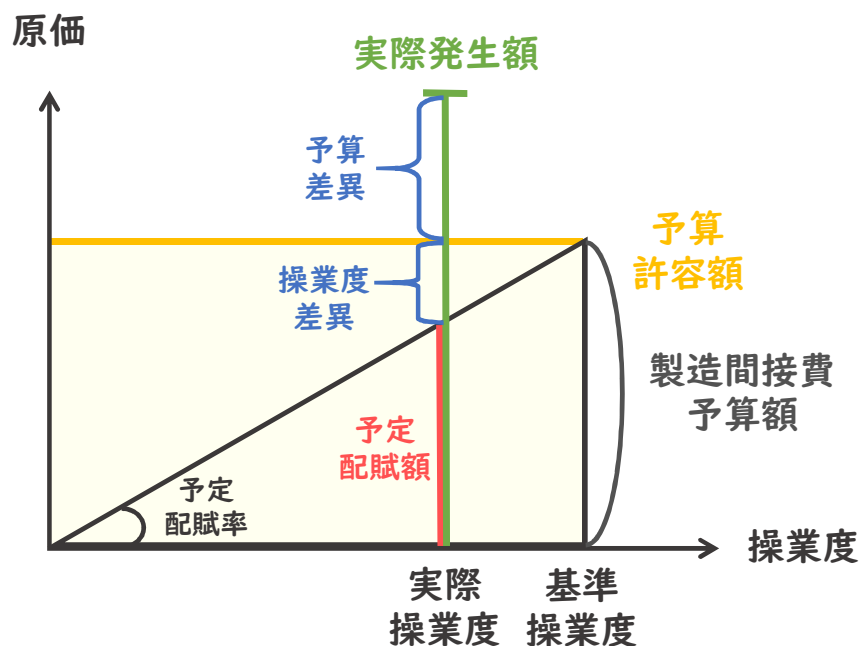


製造間接費差異の分析(固定予算)

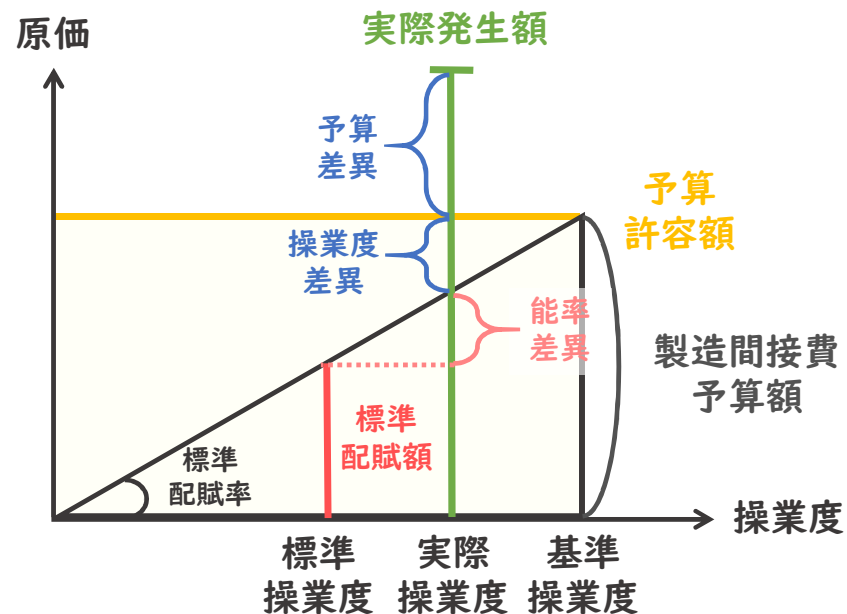
○固定予算のポイント○
 基準操業度の予算額=実際操業度の予算額(予算許容額)
 ※実際操業度が違ったとしても予算額は変化させない

<実際原価計算と標準原価計算による固定予算のシュラッターの図の違い>

【実際原価計算の場合】



【標準原価計算の場合】



製造間接費差異の分析(固定予算)

○固定予算のポイント○
 基準操業度の予算額=実際操業度の予算額(予算許容額)
 ※実際操業度が違ったとしても予算額は変化させない

《問題》

製品Aを製造する当社は、標準原価計算を採用している。次の資料に基づいて、製造間接費差異の金額を計算し、さらに差異の原因別分析(3分法)まで行いなさい。なお、製造間接費予算額の設定は固定予算で行っている。

1. 生産データ

<換算量>

月初仕掛品	100コ (80%)	80コ
当月投入	500コ	420コ
合計	600コ	500コ
月末仕掛品	200コ (50%)	100コ
完成品	400コ	400コ

- ・()内の数値は加工進捗度を示す。
- ・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2. 標準原価カード

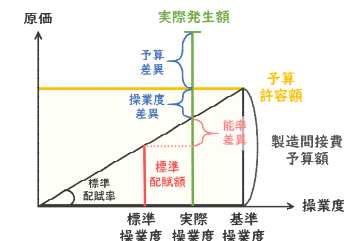
標準原価カード			
標準製造間接費	標準配賦率	標準直接作業時間	
	@500円	× 1h	= 500円

3. 実際原価に関するデータ

- ・製造間接費実際発生額:228,000円
- ・実際直接作業時間:430h

4. 固定予算に関するデータ

- ・月間製造間接費予算額:225,000円
- ・月間基準操業度:450h(直接作業時間)



<予算差異>

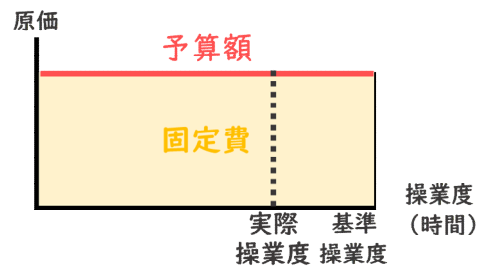
<操業度差異>

<能率差異>

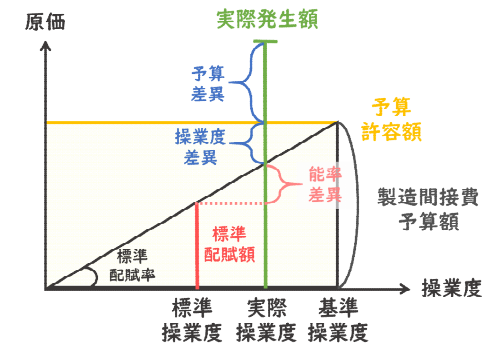


【解答】

	金額	内訳
(3) 製造間接費差異	円 []	() 差異 円 []
		() 差異 円 []
		() 差異 円 []



《まとめ》



- 製造間接費予算額は、基準操業度の間で発生する金額を予定したものである。
- ()とは、基準操業度における予算額を製造間接費予算額とする方法である。そのため、実際操業度が違ったとしても予算額は変化させない。
- ()とは、実際操業度に応じた予算額を製造間接費予算額とする方法である。



※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、ぜひ、高評価をお願いします♡

第26回の内容お疲れさまでした♪

